

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年 2月21日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676800172
法人名	有限会社コンフィアンス
事業所名	グループホームふれあいの丘
所在地	鹿児島県志布志市志布志町志布志1330番地 (電話) 099-473-8113
自己評価作成日	平成25年2月21日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成26年3月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

基本理念とケア理念の下、入居者様に分かりやすく伝えるために3つの言葉を掲示しています。

1. 毎日笑顔で挨拶します。
2. 出来る家事は一緒にします。
3. 不安なことは相談します。

- ・スタッフは2人1組で入居者様3名を受け持ち、その方々の事なら何でも分かるという特別な関係作りに取り組んでいます。現状からのレベル低下がないよう主治医と連携をとりながら、不安なく生活して頂くためにも日々模索しながら良いケアを目指して努力しています。
- ・最近特に3番目のケア理念の訴えが多く、ひとつひとつ丁寧に対応し不安が軽減するように努めています。又、ご家族へは毎月入居者様の近況報告書を作成しお送りしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

志布志市市街地の緑豊かな地に、同法人の系列施設と併設されている2ユニットのグループホームである。居室は全室、掃出し窓になっており緊急時の避難経路の確保になっている。昨年の外部評価を元に改善点を見出し、未加入だった地区の自治会にも加入し、自治会長を通しての地域とのパイプが出来つつある。ホーム主催の秋祭りには各家庭にチラシを配るなど、ホーム側からの積極的な働き掛けにより毎年、地域住民から多数の参加もある。出店や踊りなど、地域の中でも恒例のイベントになっている。居室の窓から見える畑から、採れたてのブロッコリーの差し入れをしてくれる近隣住民もいる。開設当所よりの計画であった、利用者、家族、職員を含め大所帯での1泊の温泉旅行を実践している。立案から実行まで、宿泊先の情報収集や、移動方法など各利用者の身体状況に配慮しながら、ケアに当たった職員の並々ならぬ努力が伺われる。こうした取り組みは、利用者の大切な思い出と喜びの時間に繋がっており、家族からは感謝の声が上がっている。利用者の介護度も上がり、ケアに費やす時間が多くなってきているが、同行受診の際など職員は、お互いのユニット間をカバーし合うなどして協力体制を築きながらサービスの質の向上を目指している。今後は、益々、地域との交流の幅を広げ、緊急時の協力やホームへの理解が得られるように積極的に地域に働きかけているホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	「介護される人もする人も共に生きられる地域社会を目指して」という理念の下、日々ケアにあたっている。職員も内容を理解し、地域密着型サービスの意義を確認している。	基本理念やケア目標を踏まえて、利用者にも伝わり易い三つの言葉をホールにも掲示をしている。職員は都度、振り返りを行うことで日々のケアへの反映や意識付けを行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	理念を掲示し、入居者様と日々の目標として話しをしており、生きがい作りへとすすめて行きたいと考えています。地区の自治会に加入し、行事に参加している(地区の夏祭り)。今後日常的交流が図られるように自治会へ働きかけていきたいと思っております。	自治会に加入しており、地区の夏祭りなどの行事参加や、話し手・歌のボランティアの受け入れもあり、リクエストで歌を歌ってもらうことを楽しみにしている利用者もいる。採れたての野菜の差し入れもある。ホームの行事も近隣にチラシを配るなどして多数の参加があり、積極的に地域との交流を図る努力をしている	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	敬老会・秋祭り等の行事の際や対話ボランティアなどの交流により、認知症の方の対応や姿勢などを地域住民へ周知・情報発信が出来ているのではと考えております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	6/14、9/27、11/11、12/20、2/3に開催。今年度6回目は3月下旬開催予定。	家族、行政、近隣住民、自治会長などの出席を得て開催している。利用者の様子やホームの現状を知ってもらう意味でも、主にホームの行事の日を開催日に当てている。今後は地域との関わり方についても意見やアイデアを貰いながらサービスの向上に活かしていく方向である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に参加を依頼し、助言を頂いております。	毎回、運営推進会議への出席もあり、ホームの実情や利用者の様子を見られている。生活保護に関する相談や、研修案内、感染症の情報を貰うなどして、日頃から連携を深めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束改善委員会がヒヤリハット事例のデータ収集等を行い、改善に努めています。ふれあいの丘でもヒヤリハットノートをつくり、事例検討を行っております。動きが活発で事故が予測される方も、できるかぎり拘束しないよう事例検討し取り組んでいる。	利用者の安全確保の為、止む得ず行う場合には「身体拘束に関する説明」で期限を決めて家族の同意を得ている。全体ミーティングで職員は身体に限らず「言葉かけの文例」なども基に研修をして意識を高めている。ヒヤリハットの事例検討を重ね、常に利用者の状態を共有することで身体拘束に繋がらないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	上記内容同様、外部研修会への参加をし、自事業所持ち帰り研鑽しているところです。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	2/12入居された方が、社協の日常生活支援を活用。金銭管理をお願いしている。権利擁護については、内容的に難しいところがあるので外部研修等にも積極的に参加したいと思います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約書と他に説明が理解しやすいように、パンフレットを用いる等契約者に伺いながらすすめています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族来訪時や文章・電話・広報誌などにより随時入居者様個々の状況報告はしております。運営推進会議にご家族も参加していただきます。推進委員とケアについて意見交換をして頂いております。</p>	<p>面会時等、直接口頭で要望や意見を言い易い信頼関係が出来ている。出された要望や意見については、都度ミーティングで取り上げ、職員で共有し、サービスの改善へ繋げている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月、社内全体会議やスタッフミーティングを持ち、意見交換できる雰囲気づくりを心掛けています。定期的にスタッフ面談をし、現在の悩みや今後の目標などを聞き今後の運営の参考にしています。</p>	<p>法人全体の会議を毎月設けている。ユニットごとのミーティングでは利用者や職員間での問題点など、意見やアイデアを出し合うことで、改善に繋げている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>スタッフ不足で余裕を持った人員配置とはいかないが、最低限の人員配置は確保している。パート職員の増員を行いました。働きやすさを重視したいので、常にスタッフの提案を求め改善に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部研修に外部講師を依頼したり、思考を凝らし進めております。外部研修も「大隅地区GH協研修会」を主にさまざまなテーマの研修会に参加しています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>当社は、志布志と鹿屋、鹿児島市内に事業所があるため定期的に交流している。他事業所とも研修会他各種行事等にて交流を深めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>相談を受け、まず最初の面談の際利用者本人の思い・気持ちを時間をかけお聞きするようにしている。それを持ち帰りスタッフミーティングを実施し、入居後も不安を感じることがないように「寄り添うケア」を心掛けている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>現在のご家族の介護の悩み等をじっくり聞くようにしている。その中で専門職として、認知症ケアのアドバイスを交えながら、気持ちの負担軽減に努めています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>その時にどのようなケアが必要かスタッフ間で十分に検討し、利用者担当ケアマネ等関連職種と連携をとるようにしています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>共につどい、共に活動することを心掛け、ご本人の言動のサインを見逃さないように努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	事によっては、ケアの判断に迷うことがあります。ご家族と常に情報交換し、ケアの方向性を考え、連携できるよう心掛けています。ケアの中でもご家族の話等取り入れています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人を訪ねる外出支援や、帰宅支援などを行っている。又、ホームにもお知り合いなど自由に訪れていただけるようにしています。主治医の変更はなるべく行わず、かかりつけ医へ継続受診をする体制をとっています。	散歩の途中に知人宅に寄り、お茶を飲んで帰ってくる利用者もいる。かかりつけ医での受診時に知り合いに会う事もあり、自宅の庭の手入れに帰るなど馴染みの人や場所との関係が続いて行けるような支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ホールに集う時間を設けています。入居者同士の関係がストレスを感じる場合はスタッフが間に入り対応しています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用が中止になった方へも秋祭り等行事の案内文を送付したり、現在の様子伺い訪問等をさせて頂いたりしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアの関わりの中で声掛け・聞き取りし、ご意向に副うよう進めています。その方の生活暦も把握しその人らしく生活できるよう対応しています。	意思疎通の困難な方に対しては、所作や表情から汲みとるようにして、職員間で利用者個々の思いを共有できるようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族やこれまでに関わりのある方への聞き取りを事細かに行うよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	これまでの生活スタイル等を把握し、ホームでのやり取りの状況を見ながらその方にあったケアの実現に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	スタッフのこだわりや狭い考え方にならないよう、ミーティングの内容を反映するよう努めています。本人・家族の意見を踏まえた上で作成しています。	利用者の担当を2人で3人をケアする体制を採っており、担当からの密な情報は介護計画の作成へ反映されている。状態に変化がある場合にはその都度かかりつけ医へ相談し、指示を仰ぎながら見直しをしており、本人や家族の意向を踏まえ現状に即した介護計画になっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別にファイルを用意し、食事、水分、排泄等日々のホーム生活、エピソードを記録している。いつでもスタッフが情報を確認できるようにしています。また連絡帳や申し送り表を活かし確認・把握できるようにしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>入居者本人及びご家族の状況に応じ、相談・助言を行っている。また併設の有料老人ホーム、ショートステイでどんなサービスが受けられるのか等、説明・紹介を行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>運営推進委員に民生委員、市議会議員、市福祉課の方に入って頂いており多岐にわたる助言を頂いています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医はなるべく変更せずに、継続受診を心掛けている。ご本人の状況によっては、ご家族等相談の上、変更の場合もある。</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医を継続しており、家族が病状把握が難しい場合もあり、皮膚科、眼科なども殆どが同行支援になっている。認知症の専門医もおり症状に応じて相談出来ている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>医療連携体制加算を申請している。社内他事業所の看護職員との連携や訪問看護等を利用するなど適切な対応が出来るような体制をとっています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>主治医または協力医療機関医に相談し、必要な場合は地区医師会病院等の入院を検討するなど協力体制をとっている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>ターミナルケアへの移行時は、十分にご家族等に説明し、ご理解いただいた上で訪問診療・訪問看護等を利用しながら進めております。</p>	<p>看取りの経験もある。ホームの方針として「重度化に対応・終末期ケア対応指針」を明文化して家族の同意も得ている。現在も看取り希望の利用者もおおり、医療連携体制も整っており、看護師を中心に職員全体で終末ケアへに向けての研修を重ね、意識を高めている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>救急時対応マニュアルを見ての勉強会や心配蘇生法の研修会を救急隊の方に依頼しスキルアップに努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災避難訓練を消防署立会いで実施し、地区自治会長さんにも参加いただきました。</p>	<p>併設の施設と合同で訓練を実施しており、協力体制を築いている。自治会に加入したことで、会長の参加もあり、今後は地区とのパイプ役になってもらうことで、近隣住民を交えての避難訓練や災害時に備えて備蓄のリストも作成中である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日々勤務の中や勉強会、カンファレンス等関わりの中でスタッフ同士で意識付けをし、誇りやプライバシーを傷つけないように心掛けている。	呼び名や接し方は、利用者個々に応じ敬意を払ったケアに努めている。羞恥心にも配慮し、さり気無い声掛けや誘導をして人格やプライバシーに配慮し、信頼関係を大切にしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	その入居者様に合わせた声掛けをし、自己表現が困難な方に対しては、表現や声のトーン等を聞き、意向をくみ取れるよう、また信頼関係が築けるようにつとめている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な流れはあるが、入居者様の体調はもちろん、気持ちの面も考慮し、その方に合わせた時間で過ごせるよう、また自分たち中心のケアになっていないか確認をしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	出来る限り本人の意向で決めている。身支度が困難な方にはスタッフがサポートしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	「今日は何にする?」と皆さんに伺いを立てメニューづくりをするようにしている。買物や準備等出来る方が少なくなってきたが、出来ることを少しずつすすめています。	外食の機会も多く持つようにし、寿司屋やフードコーナーで好みの品を注文して食べる事もある。季節に依り自前のソーメン流しや弁当持参でみかん狩りや近隣の公園に出掛けることもあり、趣向を凝らし食事が常に楽しみな時間になる工夫をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立表作成、食事・水分摂取量のチェックも行っています。食事制限のある方は、併設事業所厨房(栄養士)に依頼し食事提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	その方に応じてなるべくご自分でして頂くよう進めております。訪問歯科診療を取り入れており、ご指導いただいております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄・水分チェック表を参考により把握しております。排泄がご自分で出来ない方も、チェック表を参考に声掛け・誘導をしております。夜間リハビリパンツの方は、普通下着に尿摂り使用など工夫しています。	布パンツの利用者も多くいることから、チェック表を活用し適時の誘導で現状維持に努めている。自立志向の利用者には声掛けを中心に、一部介助などで自立に向けた支援になっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給や繊維質の食べ物等を取り入れたメニューづくりを心掛けています。散歩等適度な運動と服薬管理を含め主治医から助言を頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入居者様の希望や体調を考慮し、ゆっくり入浴して頂いています。週3回を基本に、入浴剤を入れたりして工夫しています。	バイタルチェックで体調変化を見極め、交代や曜日変更で週3回を基本に対応している。入浴をためらう利用者には声掛けなどで気分を変える工夫をして、ゆったりと入浴が楽しめる支援になっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様の体調や状況によりますが、日中は離床を心掛け、夜間ゆっくりと休んで頂けるように支援しています。夜間不眠が続いたり、興奮等で不安定な場合は専門医に相談するようにしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全スタッフが当番により受診付添いを行い、他スタッフへ受診結果報告することで、全スタッフが把握し対応できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物たたみ他その方が出来る家事を共に行ったり、季節の行事(梅干・らっきょう漬、幅うち、つわむき)等経験や知恵を発揮できるよう提供しています。収穫物を使った副菜づくりやおやつをつくり提供している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一泊旅行を実施しました。又、買物、墓参り、美容室他ご家族の協力を頂きながら希望に添えるよう支援しています。春先は、屋外でお茶を飲んだり工夫しています。	気分転換の散歩や、職員と食料の買い出しに行く事もある。弁当持参でみかん狩りや近隣の公園に出掛けたり、自宅の庭の草取りや、理髪店、美容室など本人の希望を汲み取り、家族支援を貰いながらホームにとじ込まない支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理はスタッフが行いますが、買物・外出の際はご本人が支払い、それをサポートするようにしています。難しい場合は、ご本人より依頼されたものをスタッフが購入し、代金を伝え小遣い帳を見ていただいています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族や友人に気軽に交流が出来るよう支援しています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節に応じ花を飾ったり、音楽を流したりして雰囲気作りを心掛けています。入浴前の浴槽水の塩素濃度測定（レジオネラ対策）と入浴時の入浴剤使用も実施しています。各部屋の表札や標示なども工夫しています。</p>	<p>リビングは、天窓からの陽射しで明るく、開放感のある造りになっている。大型テレビとソファが置かれ、ゆったりとした時間が過ごせる様に工夫されている。2ユニット間は自由に行き来が出来、遊びに行く利用者もおおり、BGMが流れる空間で心地よく過ごせている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファを置いたりしてゆったり出来る場所の提供を心掛けています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者の好みや、生活スタイルに合わせて自宅で愛用のものを持ち込んで頂くようにしている。タンスやその他家具の配置等、ご家族に相談しながら使い勝手のよいように努めています。家族の写真等を飾っています。</p>	<p>現在はフローリングのみの居室であるが、身体状況や希望で畳に替える事も可能である。仏壇や人形、家族写真など馴染みの品を持ち込み、利用者が安心して過ごせる生活空間になっている。避難用にベッドの位置をずらすなど利用者の安全への配慮が見られる。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ご本人の状況を見ながら、不安や混乱を起こすような物等がないよう配慮し、穏やかに生活できるようミーティングを重ね対応しています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない